

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- | | | | |
|---|------|--------------------------|---------------------------|
| 1 | 会議名 | 各務原高等学校運営協議会 (第2回) | |
| 2 | 開催日時 | 令和3年10月8日(金) 14:30~16:30 | |
| 3 | 開催場所 | 各務原高等学校会議室 | |
| 4 | 参加者 | 会長 長倉 守 | 岐阜大学大学院教育学研究科准教授 |
| | | 副会長 小川 陽子 | 新生こどもえん園長 |
| | | 委員 堀 善子 | 各務原市教育委員会総務課・ふるさと教育アドバイザー |
| | | 五反田 明 | 本校PTA会長・五大自動車工業取締役 |
| | | 奥村 篤 | 各務原市立中央中学校長 (ご欠席) |
| | | 福田 尚巳 | 各務原市役所いきいき楽習課 (ご欠席) |
| | 学校側 | 細井 恒樹 | 校長 |
| | | 林 昭男 | 教頭 |
| | | 溝下 肇 | 教頭 |
| | | 新田 雄一 | 事務長 |
| | | 関谷十糸子 | 教務主任 |
| | | 松久 潤 | 生徒指導主事 |
| | | 原 裕子 | 進路指導主事 |
| | | 梅野 剛 | 特別活動部長 |
| | | 片桐 豊 | 渉外部長 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和3年度学校運営協議会 会長・副会長の選任

(2) 今年度の学校概況について

意見1: コロナ禍において、教職員が生徒の「学びの保証」ために奮闘しているのがわかる。

意見2: 授業風景を見て、生徒が落ち着いていると感じた。

意見3: 50周年記念式典に参加したが、生徒の落ち着きを感じた。

意見4: 部活動など、やりたいけどできない、という生徒の気持ちがあるのではないかと。

⇒もちろんそうした気持ちをもっている生徒は多いが、ただ「やりたい」という考えから、「大会が実施できるだけありがたい」という、運営側への感謝の気持ちといった雰囲気も感じられるようになってきている(サッカー、野球など)。また、吹奏楽などでは動画による審査など、運営方法の工夫もしていただいている。

意見5: コロナ禍のため、PTA活動がほとんどできていない。教職員任せになっており、申し訳ない。

意見6：第1回の会議が書面開催であったが、本日はこの会議やその前の授業見学を通じて委員の方々、教職員、生徒の姿を見ることができてよかった。

(3) 生徒及び保護者対象アンケートの結果について

意見1：学校の活動について、全般に肯定的な意見をいただいているが、特に「保護者」から「わからない」という回答が増えており、保護者に広報していく必要がある。

意見2：評価の仕方を生徒にももっと明確に示していく必要がある。

意見3：「教育方針・指導目標」が生徒に浸透していない。

意見4：働き方改革については、保護者に伝わりづらい。理由の一つとして、教職員の一生懸命さが生徒を通じて保護者に伝わり、それが「働き方改革」に反することに捉えられているとも考えられる。

意見5：部活動について、外部指導者の活用は行われているか。

⇒本校でもいくつかの部活動が、外部指導者の指導を受けている。しかし、時間の制限等の課題もある。

(4) (県立学校) 体育施設開放について

「要項」の方針が承認された。

(5) 令和4年3月策定「スクール・ポリシー（案）」について

意見1：位置づけはどうなるのか。

⇒校訓・教育目標・マニフェストとともに位置づけられる。

意見2：生徒数が減少していく中、単学科の高校として本校を今後どのような学校にしていきたいかを、危機感をもって考えていかなければならない。

意見3：時代の変化に伴い変えていくべき点とともに、変えるべきでない点もある。

意見4：本校への期待として、学力向上が第一で、国公立大学に10%くらいの生徒が進学していくのが理想である。また部活動も高いレベルを目指してほしい。

意見5：進学に関して、遠くの学校には行かせたくないという保護者の思いもある。遠くの国公立大学より近くの私立大学という考えなど、価値観の違いや考え方の多様化もある。

意見6：グラデュエーション・ポリシー（GP）の実現のために、カリキュラム・ポリシー（CP）が必要。そのためのアドミッション・ポリシー（AP）である。APとCPの親和性があるが、GPの一部に整合性が取れないと考えられる部分もある。目指すゴールの見直しが必要。教育目標の「知徳体」の3項目を入れる。

意見7：教育目標とのつながりをもたせ、教育に多様性を期待する。

意見8：この学校のカラーを出すとよいのではないか。

意見9：APについて「地域に愛着のある生徒」を盛り込んでほしい。学力向上だけが正解ではない。本校への期待は、「いろいろな選択肢を見つけられる。いろいろなことにチャレンジできる」という点にある。中学生にとって間口の広い学校であるべきである。

意見10：「人とコミュニケーションをする力」こそが他人に助けを求められる力につながる。多様な人間と仲良く暮らしていける社会を作る人間を育ててほしい。

(6) その他（連絡）

・第3回の日程について、2月上旬を予定している。

6 会議のまとめ

- ・「スクール・ポリシー（案）」について、本日の会議にていただいた意見を踏まえ、第3回の協議会にて改めて提案をする。